

# 東京江東ロータリークラブ

2022~2023年度 テーマ

イマジン ロータリー

IMAGINE ROTARY

RI会長 ジェニファーE.ジョーンズ 地区ガバナー 嶋村 文男

楽しもうロータリー

～仲間を増やし みんなで楽しい未来へ～  
クラブ会長 小野 綾子

Vol.61

No.30

第2868例会  
2023年6月11日号

今日の卓話

第3回イースト21社会福祉フェスティバル  
東分区5クラブ合同例会  
公益財団法人難病の子供とその家族へ夢を  
代表理事 大住力氏

次回例会案内

第5回クラブ協議会  
三役退任  
五大奉仕委員長退任挨拶

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

訂正出席率 例会なしの為  
訂正ありません。

6/6 会員数 23名中  
出席 16名 出席率 69.56%

本日のゲストのご紹介

【卓話者】柳家小志ん師匠  
米山奨学生 チャンティフォン様

ビジター紹介

東京城東ロータリークラブ  
会長 篠田秀樹様

【ディスレクシア・シンポジウムのご案内】



ニコニコボックス



東京城東RC 篠田秀樹会長：本日は、まだ任期は残っておりますが、貴クラブと城東クラブをまとめて下さった大澤栄一ガバナー補佐への御礼、同期の小野会長、末次幹事へのもうひと踏ん張りの激励、6月11日(日)の5クラブ合同例会大澤実行委員長と皆さまへ感激の訪問をさせて頂きました。本日は、よろしくお願ひ致します。

小野会長：篠田会長ようこそ。柳家子志ん師匠本日の卓話楽しみにしております。

末次幹事：本日は、卓話楽しみにしています。

大澤栄一ガバナー補佐：篠田会長、ようこそ！！いよいよ6月11日が合同例会です！よろしくお願ひします！

河西会長エレクト：本日も宜しくお願ひ申し上げます。

伊藤（海）幹事エレクト：本日の卓話とても楽しみです。

大澤（秀）君：子志んさん、本日楽しみにしています。

小嶋君：本日卓話、柳家小志ん師匠宜しくおねがい致します。

伊藤（三）：柳家小志ん師匠の卓話楽しみです。宜しくお願ひ致します。

田澤君：子志ん師匠、本日は宜しくお願ひいたします。

鈴木君：井田さんRYLA卓話を楽しみにしています。

板倉君：6/21に、51才になります。

大島君：篠田会長よくいらっしゃいました。師匠、卓話宜しくお願ひします。

堀君：今日もよろしくおねがいます。

古賀君：暑いですが、思いのほか議員活動に、まいしんしています。

合計 61,000円  
累計 1,737,500円

会長・幹事報告

- 6日(火) 理事会・被選理事会・通常例会
- 11日(日) 第3回社会福祉フェスティバル・5クラブ合同例会【於：イースト21東京】
- 13日(火) 移動例会の為、休会になります。
- 15日(木) メイクアップ同好会の皆様が、東京グローバルロータリークラブ様へお伺いいたします。



<委員会報告・その他>

次の例会は、令和5年6月20日(日)最終夜間例会となっております。

※欠席される方は、例会前日の12時まで、事務局までお知らせください。



2023年5月のロータリーレポート【1ドル140円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

- 例会場/東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5683)5683 ●例会日/毎週火曜日12時30分~13時30分
- 事務局/東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5632)3777 FAX:03(5632)3737



# 柳家小志ん師匠私の落語人生



私は現在、江東区の東陽4丁目の4番地に住居を構えます。出身は埼玉県さいたま市岩槻区の大字末田です。今年45歳で、同級生にはゼレンスキー大統領・マクロン大統領がおり、これに私柳家小志んを含めてゴールデン世代と言われています。2004年の25歳の時に、師匠柳家さん喬門下への入門が叶い、それと同時に師匠の住む江東区東陽町へと上京して参りました。それから諸事情(数度の恋人との同棲生活開始→解消等)による転居を繰り返し、現在の住居は東陽町内だけでも5カ所目になります。そんなこんなで、江東区に住んでまもなく20年、同時に落語家生活も20年目を迎えようとしています。私の落語との出会いは、高校時代の芸術鑑賞会での学校寄席でした。その学校寄席で高座に上がった、桂南喬師匠に強く感銘を受け、それから寄席や落語会へと通い始めるようになりました。そうしている内にいつの間にか、師匠柳家さん喬を追う様になりました。高校卒業後はそのまま就職し、暫くして働きながら大学の通信教育学部に入學し勤労学生となりました。それから師匠へ弟子入り志願をする25歳まで、仕事に大学、国家資格の受験勉強(介護福祉士・介護支援専門員・社会福祉士・精神保健福祉士)、そして寄席通いと、怒涛の会社員生活8年間を過ごしました。さあそしていよいよこれから、その会社に貢献という時に、会社を退職し、師匠柳家さん喬の下へ弟子入り志願をしました。落語家になりたいという気持ち以上に、柳家さん喬の弟子になりたいという気持ちが勝っていました。2004年に弟子入り叶ってからは師匠宅へ通い弟子となり、それから前座となり無休の寄席前座修行期間に突入、2008年に二つ目に昇進、その後の御礼奉公期間を含めると、約5年間師匠宅へと通わせていただきました。そこでは、芸事以上に、色々な事を学ばせていただきました。どういう訳か、ど

の寄席の周りにも手相占い師がいます。前座時分には時より顔を合わせていたので、二つ目昇進の際に、今後の運勢を占ってもらいました。終演後の上野鈴本演芸場の前にいる占い師には、「貴方はもう少し頑張らないといけない。」と言われたので、「そんな事が手相にでていますか?」と尋ねると、「いいえ。今、ちょうど貴方の高座を観てきましたから」と言われました。浅草演芸ホール近くにいる占い師には、「貴方は、お金持ちになれない。ただ、食べる事と御縁には困らない。」と言われました。それから不思議とその日から、思い掛けず御馳走になったり打ち上げて鱈腹いただいたり、飲食店に入ったら賄い食を一緒に食べる事になったりの日々が続きました。私はその現象が毎日の様に続きとても怖くなりました。「このままじゃ…、冷蔵庫の物が腐る!」と。それから暫くは冷蔵庫の物を消費する事に専念しました。また御縁では、行く先々で広い人脈とカリスマ性を持ち合わせた方々にお会いし引き上げていただき、またその方達のご紹介先でまた新たな有力者にお会いするという、とても運の良い好循環にはまっています。そうした方々のお陰もあり、文化や娯楽が不要不急と言われた2011年の東日本大震災や2020年から続くコロナ騒動も、何とか乗りきって来られました。師匠のさん喬もそうですが、広い人脈やカリスマ性のある方々の特徴は、どんな立場にしようが、誰に対しても敬意と感謝の念を持っています。その事は、とても尊敬しています。私は、師匠の隣マンションに住んでいるので、離れて住む親子以上に師匠と行動を共にする事が多いです。弟子入り叶うまではこんな神はいないと思っていた師匠も、長く一緒に過ごすとはやはり人間であると思う時もあります。それでも20年間、師匠に仕える気持ちが変わらないのは、好きだという感情の他にも尊敬があるからだ気が付きました。「愛はさめるが、尊敬はさめない」。それからは、人に対しては美点凝視し敬意と感謝を忘れない様になっています。また自分も長くお付き合いしていただく為に、尊敬される人間になれる様に精神的成長を日々考えています。先日、あの浅草の占い師に久し振りに遭遇しました。ついでにコロナ騒動後の私の運勢を占ってもらうと、「今までの貴方の全ての活動、御縁が成熟し始める。」との事でした。談笑の流れから、この数年のコロナ騒動について尋ねてみると、その占い師は、こう言いました。「いやー、こんな時代が来るなんて夢にも思わなかった…」と。この人は、占い師というより、人をいい方向に導く暗示師なのかもしれないと思う様になりました。